

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立高島小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> すべての項目について、最終評価、学校関係者評価とも「A：十分達成できている」との達成度(評価)であった。島留児童並びに不登校児童の保護者から、本校の指導・対応について感謝の意が寄せられた。 教室で学んだことを地域に貢献する活動として活用する「サービラーニング」を推進することができた。次年度に向けて、教科等横断的な視点からカリキュラムを見直し、さらなる活用力の育成を図る。 コロナ禍にあっても、地域の方の協力で多くの体験活動を実施することができた。今後も「地域とともにある学校」を目指し、高島ならではの特色ある学校づくりを進めていく。
------------------	---

2 学校教育目標	やさしく、かしこく、たくましく
----------	-----------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①登校することが楽しくなる学校づくり ②道徳性を磨く教育課程の編成 ③基礎的基本的学習内容の定着と活用力の育成 ④自らの健康の維持管理と体力向上
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価			主な担当者	
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師4/5人以上	・教師間でマイプランを共有するとともに、校内研修で取組んだり、学期ごとに内容の情報交換を行ったりする。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○活用力の育成	○朝のスキルタイム90%以上実施	・読んだり書いたりする活動に条件を付けることで、連続や条件に合わせた作文が書けるようにする。 ・4～6年は算数の活用問題を1学期間に2回以上実施する。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学期に1回、人権・同和教育の視点で道徳教育に取組む。 ○毎月、「なかよしアンケート」を実施して肯定的な回答の児童を7/9人以上にする。	・人権・同和教育の参考資料を基にして、各学年で指導を行う。 ・「なかよしアンケート」の中で、自分が頑張っていることやできるようになったことを記述する欄を設ける。 ・保護者や地域の方々や連携した体験活動を実施する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○月1回、学活の時間を活用して担任と児童の個人面談を行い、気になることや悩み等を聞く。	・児童から得た情報を基に、月1回の児童支援委員会にて情報共有を行い、全職員で問題解決を図る。 ・週1回の職員連絡会で、児童の様子で気になることがあれば報告し、いじめの未然防止に努める。							(主)生徒指導主事 (副)各学年主任
	◎地域の未来について考え、課題解決に取組む児童の育成	◎年間4回以上、地域の人達と共に体験活動や地域と関連した行事に取組む。	・体験活動や地域と連携した行事と教科等を関連させ、地域へ貢献できる機会を設定する。 ・地域のひと・こと・ものに触れさせることで、これからの自分にできることを考えさせていく。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童7/9人以上 ○自分の身体に関心をもち、健康を維持していけるような知識を身に付けさせる。	・「生活リズムチェック」を活用し、食事にに関する意識調査を実施する。 ・学期に1度の発育測定、学校三師による保健指導、保健だよりなどによる情報発信							保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
	○望ましい生活習慣の形成	○早寝・早起きを意識して実行できる児童を6/9人以上にする。 ○積極的に体を動かそうとしている児童を6/9人以上にする。	・「生活リズムチェック」を活用し、睡眠に関する意識調査を実施する。 ・週に1度は20分休みに、ジョギングや縄跳び等の運動をする時間を設け、全校で体づくりに取り組む。 ・週に1度は全校レクの時間を設け、体を動かして遊ぶ楽しさを実感できるようにする。							保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・各教育活動の目的を再確認し、削減・結合・交換・簡素化できるか検討し、実践する。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価			主な担当者	
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
○教育環境の効果的な利用	○すべての教育活動でのICT利活用教育の推進	○週に2回以上、タブレット、PC等のICT機器(電子黒板を含む)を利用する児童を7/9人以上にする。	・授業の中で週に2回以上はICT機器を活用できるようにし、児童がICT機器に親しみ、その良さを実感できるようにする。							情報教育主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------